

令和7年度 中間評価結果

共同利用・ 共同研究拠点名	創薬基盤科学技術開発研究拠点
大学等名 (研究施設名)	名古屋市立大学（創薬基盤科学研究所）
評価区分 (中間評価結果)	A
評価コメント	<p>本拠点は、「がん」、「神経疾患」に的をしぼり、その原因遺伝子の特定から、世界をリードする次世代医薬品開発の基盤となる研究や技術開発、さらにはその臨床応用へと繋がる一貫型の体制を整備し、広く社会に門戸を拓げた共同利用・共同研究の拠点を確立し、「次世代型創薬」の実践型モデルを構築していくことを目的として拠点活動を実施している。拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティへの貢献もあり、今後も、共同利用・共同研究拠点を通じた成果や効果が期待される。</p> <p>大学のみではなく、産学官連携を推進しつつ拠点運営を実施しており、また、RI 実験施設をニーズの高い動物実験施設へ転用する等、今後の拠点活動を見据えた大規模な改革が行われている。</p> <p>今後は、これらの改革の成果が、着実に現れてくることを期待するとともに、本拠点を起点とした先進的な研究成果の創出により、当該分野を牽引していくことが一層期待される。</p>